

スクリプト

概要・基本設定	2
コマンドリファレンス編	3
機能別コマンド索引	3
ACTIVATE SCRIPT	4

概要・基本設定

スクリプト機能は、あらかじめファイルに記述された一連のコマンドを一括して実行する機能です。スクリプトは設定情報の保存に使うほか、頻繁に行う一連の処理をまとめたシェルスクリプト/バッチファイルのような使い方をしたり、トリガー機能と組み合わせてイベント発生時に指定した処理を自動実行させたりと、さまざまな用途が考えられる便利な機能です。

スクリプトファイルは拡張子が`.scp` か`.cfg` のファイルで、内容はスイッチの管理コマンドを列挙したテキストファイルです。慣例として、`.cfg` は設定情報を保存する設定スクリプト、`.scp` はバッチファイル的なスクリプトに使われますが、明確な区別はありません。

■ スクリプトファイルを作成するには、次の方法があります。

- COPY コマンド（「ファイルシステム」の7ページ）で別のファイルを複製することにより作成する。

```
COPY system_bak.cfg system.cfg ↵
```

- LOAD コマンド（「アップロード・ダウンロード」の10ページ）を使って別のコンピューター上で作成したファイルをダウンロードする。

```
LOAD METHOD=TFTP FILE=basic.scp SERVER=192.168.1.3 ↵
```

- FTP の PUT コマンド、または FTP ソフトウェアで別のコンピューター上のファイルをダウンロードする。

☞ ファームウェアアップデート中はFTPセッションを切断しませんので、お使いのFTPクライアントのタイムアウト設定によっては「アップロード失敗」と表示されることがあります。

■ スクリプトは次のときに実行されます（アップロード・ダウンロードについては、「アップロード・ダウンロード」をご覧ください）。

- コマンドラインから ACTIVATE SCRIPT コマンド（4ページ）を実行したとき

```
ACTIVATE SCRIPT=gogo.scp ↵
```

- スwitchの起動時（SET CONFIG コマンド（「コンフィグレーション」の6ページ）で指定した起動スクリプトが読み込まれ実行される）

■ スクリプトが出力した文字列は、通常端末画面に出力されます。

■ スクリプトファイルの内容を確認するには、SHOW FILE コマンド（「ファイルシステム」の9ページ）を使います。

```
SHOW FILE=myscript.scp ↵
```

コマンドリファレンス編

機能別コマンド索引

概要・基本設定

ACTIVATE SCRIPT	4
-----------------------	---

ACTIVATE SCRIPT

カテゴリー：スクリプト

ACTIVATE SCRIPT=filename

filename: ファイル名。拡張子は「.cfg」または「.scp」

解説

指定したスクリプトを実行する。スクリプト属性のないファイル（拡張子は「.cfg」または「.scp」以外）は実行不可。実行中のコマンドは、=>に続いて表示される

パラメーター

SCRIPT スクリプトファイル名

入力・出力・画面例

```
Manager > activate script=test02.cfg

=> SET CONSOLE TIMEOUT=0

Operation successful.

=> ENABLE IP DHCP

Operation successful.
```

例

■system.cfg ファイルを実行する

ACTIVATE SCRIPT=system.cfg